

3.1.11 自動車

基本的事項

自動車とは、原動機の動力により車輪を回転させて走行する車である。動力源として、燃料、電気を使用する。

対策内容と削減の視点

対策内容	削減の視点
(1)エコドライブの実施	自動車におけるエネルギーの使用を最小化して運転することで、自動車の動力源となる燃料や電気を節約する。

対策の実施状況を確認する手段

(1)エコドライブ

【確認する手段】

- ・ 警察庁、経済産業省、国土交通省及び環境省で構成するエコドライブ普及連絡会が推奨する「エコドライブ 10 のすすめ」を運転者が実施できるように、エコドライブに関する体制・マニュアルの整備、運転者に対するエコドライブに関する講習を行う必要がある。

■エコドライブ 10 のすすめ

項目	内容
1.ふんわりアクセル「eスタート」	発進するときは、穏やかにアクセルを踏んで発進しましょう(最初の 5 秒で、時速 20km程度が目安です)。
2.車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転	車間距離が短くなると、ムダな加速・減速の機会が多くなり、燃費が悪化します。交通状況に応じて速度変化の少ない運転を心がけましょう。
3.減速時は早めにアクセルを離そう	信号が変わるなど、停止することがわかったら、早めにアクセルから足を離しましょう。また、減速するときや坂道を下るときにもエンジンプレーキを活用しましょう。
4.エアコンの使用は適切に	必要な時のみ、エアコンスイッチを ON にしましょう。また、冷房時は、車内を冷やしすぎないようにしましょう。
5.ムダなアイドリングはやめよう	待ち合わせや荷物の積み下ろしなどによる駐停車の際は、アイドリングをやめましょう。
6.渋滞を避け、余裕をもって出発しよう	出かける前に、渋滞・交通規制などの道路交通情報や、行き先やルートを確認し、時間に余裕をもって出発しましょう。
7.タイヤの空気圧から始める点検・整備	タイヤの空気圧チェックを習慣づけましょう。また、エンジンオイルなどの定期的な交換によっても燃費が改善します。
8.不要な荷物はおろそう	車の燃費は、荷物の重さに大きく影響されます。運ぶ必要のない荷物は車からおろしましょう。
9.走行の妨げとなる駐車はやめよう	迷惑駐車はやめましょう。交差点付近などの交通の妨げになる場所での駐車は、渋滞をもたらします。
10.自分の燃費を把握しよう	自分の車の燃費を把握することで、エコドライブ効果が実感できます。

出典：エコドライブ10のすすめ(エコドライブ普及連絡会)